

おもな内容

- ▶ 日本学校保健会運営の基本方針
- ▶ 校長先生の訓話(1)
- ▶ 養護教諭のひろば(9)
- ▶ 文部省体育局学校保健課長異動
- ▶ 学校薬剤師東南アジア訪問
- ▶ 保健会だより(9)
- ▶ 全国学校歯科保健大会報告
- ▶ 学校保健史 その7
- ▶ 日本学校保健会だより
- ▶ 学校保健用品推薦公示

The School Health (No.111) 昭和51年3月1日発行

学校保健

(隔月発行)
発行 日本学校保健会
東俊郎
東京都港区芝西久保明舟
町20第18森ビル2号館8階
電話 (501)3785・0968
振替口座東京 98761
頒価 1部80円(送料共)

財団法人 日本学校保健会会報

昭和51年度

日本学校保健会 運営の基本方針

現在、日本は大きな変動期に直面している。国の将来を思うとき、次代を担う児童・生徒が心身ともに健康で、社会的に望ましい人間として育成される基盤は学校保健の充実と振興にある。健康は、個人および社会の出発点であり、人間存在の根源である。しかし、それは、ただ、希求しても達成は困難である。社会生活や生活環境の整備はもとより、生命の尊厳を身をもって学ぶ保健教育の定着があって、はじめて可能である。

一昨年来、健康診断検査項目の改善と整備が確立されたが、児童・生徒の体位は、戦後急激に伸びたが、体力がそれに伴わない。心臓、腎臓、ぜん息、などの疾患、精神障害、肥満とやせ、公害による健康害、う歯、近視の著しい増加など憂うべき現象が見うけられる。

財団法人日本学校保健会は、全国都道府県の学校保健会と関係団体とが協力提携して、地域保健活動を活発にするとともに学校保健センター的の事業の成果を積極的に教育の場に活用し、心身ともに健康で調和のとれた児童・生徒の成長を期待している。以下、昭和51年度運営の要点をかかげるが、これらの施策が53の加盟団体に理解され、地方学校保健会の活動として展開されたならば、わが国の学校保健の推進に役立つものと信じている。

1. 主旨

財団法人日本学校保健会は、地方学校保健会および関係諸団体との総意を結集するよう連絡提携を密にしその活動内容を充実する。同時に日本学校保健会は、国庫の補助金による学校保健センター的の事業を行なう。

2. 主となる施策

(1) 都道府県学校保健会と日本学校保健会とが連絡を密にし、積極的に協力をする。

○地域別学校保健研究会の後援と助成

○職種別学校保健研究会の後援と助成

(2) 学校保健センター的の事業を通じ、学校保健の普及指導、調査研究、健康相談などの委員会で得た資料を提供する。

○学校保健センター的の事業の報告書

学校保健に関する国内国外の資料を蒐集する資料委員会、国内における国民の健康、児童、生徒の統計資料をまとめて編集する白書編纂委員会、健康度評価方法とくに運動機能検査項目について検討をする健康度評価委員会。児童生徒の健康調査の内容方法を研究する児童生徒健康調査委員会。授業中の騒音と学習成績の調査をする環境衛生委員会。新しい健康診断の問題を探る健康診断調査研究委員会。健康相談の部としては、肥満とやせ、ぜんそく児童、生徒の保健管理。歯、口腔の刷掃と歯肉炎の予防など9委員会の概要をまとめた報告書である。

○学校保健の動向、学校における「肥満」と「やせ」指導の実際、ぜんそく児童・生徒の保健管理指導指針。学校における健康診断へのコンピュータの利用。刷掃指導による歯肉炎の予防。これらの資料は、各教育委員会、保健会を通じ約1万冊の冊子が無料で配布され、希望者には、実費で頒布されている。これらを活用し、保健指導にぜひ役立てていただきたいものである。

以上、運営の基本方針は、常務理事会で原案を作成、理事会で検討。昭和50年11月7日評議員会で承認され、決定したものである。

校長先生の訓話 (11)

美しい心からの行い

埼玉県浦和市立常盤小学校長

井 原 久 雄

夏休みが終って第2学期が始りました。半月ほど過ぎた頃から学校の玄関に小さな花瓶にきれいな花が飾られるようになりました。掃除当番のひとが飾ってくれるのだろう、いいことをしてくれているなど大変嬉しく思っていました。1ヵ月そして2ヵ月が過ぎました。形の可愛いらしい花もありました。真赤な花もありました。美しい紫色の花もありました。花がなかったのでしょか緑の木の葉を挿してあるときもあり、紅葉した「どうだんつつじ」の枝が挿されているときもありました。玄関の隅に飾られた花を楽しみながら第2学期を過ぎたのは私だけでなく、そこを出入りする他の人々も同じだったのではないかと思います。

お正月を迎え第3学期が始りました。花のない時期なのに相変わらず可愛いらしい花は飾られているのです。一たい誰が飾ってくれるのだろう、どんな子どもなのだろう、「知りたいな」と思うようになりました。でもいいかげんなことをするとこの美しい行ないがそこで切れてしまいそうな気がしたのでそのままにしました。

3月になりました。私は何時もより早く出勤してみようと思いました。3日目のことです。誰もいない玄関に1人の女の子が例の花瓶に花を挿し替えているのに出会いました。

「お早ようございます」明るい朝のあいさつがとんできました。「お早よう、ずいぶん早いなあなたですかいつも花を飾ってくれているのは」、私はそう聞かずにはいられませんでした。

「はい」あなたの名前は、「山崎久美です」さっきの明るい元気さはちがって小さな声でした。悪いことをして叱られてでもいるようなのです。きっと最後まで誰にも知られたくなかったのかも知れません。

「有難う、玄関が明るくなったし、私は毎朝この花を見るのが楽しかった、他の先生もきっと同じように思

っているでしょう。ほんとうに有難う」私は心から山崎さんにお礼を言いました。山崎さんは「済みません」というように肩をすぼめて教室の方へ去りました。

卒業式の前日には特別にきれいな花が飾ってありました。卒業する山崎さんは飾る花でお別れをしているのだなと思って私は花に向って「さようなら、ありがとうございました」と小さな声でいきました。

山崎さんは今、中学校の1年生です。中学校でもきつとみんなに喜ばれる何かをやっていることでしょう。

山崎さんの飾る美しい花は見られなくなって淋しくなりましたが今年はこれに代って美しい花が咲きました。学校の前通りの歩道は、タバコの吸いがら、マッチの燃えさし、ジュウスの空かん等でよごされいつも余りきれいではありませんでした。それが近頃時々ではあるがきれいに掃除されることに気づいていました。或る日一通の手紙が校長宛に届きました。「道路をよごす人がいて残念であること、常盤小の児童が掃除をしてくれるので気持ちよく朝の出勤ができること。感心な子どもたちにノートを届けたいこと。そして最後にこのような子どもを育ててくれている学校に感謝している」と書かれていました。手紙を読んでいるうちに常盤のみなさんの美しい行ないがきつぎに浮んできて「伸びろ、伸びろ、天まで伸びろ、身も、心も」そんなことを祈りました。

山崎さんの行ないにしろ、又道路清掃にしろみなさんの美しい心から出た行ないはこんなにも人々の心を感動させ喜ばせるのです。私たちは私たちの中にある美しい心をもっともっと磨いて多くの人々に喜んでもらえる行ないができる人になるよう努力しましょう。

(7頁よりつづく)

会に「学校衛生振興に関する建議案」も提出している。大正期の学校衛生再興に果たした彼の功績は両認識されてよいものと思う。

大正10年帝国学校衛生会が設立され、雑誌「学校衛生」が創刊されるようになって一時窮地に陥ったが、以後編集方針を変更して、学術雑誌としての命脈を保った。

彼の著書としては、「学校看護諭要」(昭4)、「栄養弁当学校給食の研究」(昭8)等がある。

戦争の苛烈となった昭和17年茨城県結城郡石下村に疎開し、20年8月21日同地で没した。享年75才であった。

参考文献

本図晴之助：学校衛生の過去現在，日本学校衛生，8，12，P.640~648，大9

同：学校衛生研究資料，P.1~3，大日本学校衛生協会，昭3

学童の集団検尿には
潜血検査も

キッドステック1™

Kidstix

ヘマコンピェック1®

Hema Combix

製造元：エームス事業部 販売元：三共株式会社
マイルス・三共株式会社

肉体疲労時の栄養補給

滋養強壮に

ポポンS錠

シオノギ製薬

養護教諭のひろば(九)

よりよき実践を求めて

岡山県養護教諭研究会会長
岡山県立岡山朝日高等学校

阪本 方子

1.はじめに

本年度の健康診断は、昨年の反省・評価に基づいて、各学校で、より充実した計画のもとに、総合的に、能率的に、効果的に、実践されつつあることと思う。

私たちの自主的な研究会では、常に、よい実践例を話し合うことになっているが、とすれば、現場での問題点、執務についての悩み、不満へと話は展開してしまっていて、問題点をよりよくかえた実践例が、自分の執務体験の中にも、周囲にも、案外、少ないことに気付くのである。研究発表にしても、結論が、「今後の問題点」で終わっていて、その問題点がどのような具体的な効力によって改められたか、生徒たちがどのように変わったか、先生方がどのように意識を変えて行ったか、学校体制がどのようによくなったか、そこまで行っていない。つまり、何を実践すべきかではなく、何をどのように実践したか、そして、どう評価されたかが問題なのである。全国的に、すばらしい実践活動をすすめている「めの会」「てのひらの会」にあやかるとすれば、私たちは、さしずめ、「くちの会」に比べて「くちの会」ではないかと反省したことである。

2.「くちの会」実践記録から

この研究会の研究テーマに、「養護教諭の執務を阻害する要因」つまり、養教として執務しやすい要因、執務しにくい要因について、転任した学校と前任校と比較して、やりやすかった、やりにくかったということは、いったい、何が要因なのだろうかということがあった。結論として、(1)学校体制 (2)養教の力量・人間性 (3)養教の執務内容、の3つの問題にまとめて話し合った。この要因のうち、(2)と(3)については、私たち自身の問題であり、とくに、執務内容については以前から非常に関心と熱意で研究されているが、(1)の学校体制の問題については、学校保健を教育保健といえることができるように、私たちの積極的な実践を創り出すことが必要であると痛感したのである。

3.最近の共同研究のプロローグから

保健調査票については、答申後、脚光を浴び、論議され、多くのモデルが紹介され、内容が分析・評価されているが、多くの学校では、早くから活用され、研究されてきているのではなからうか。それにもかかわらず、のぞましい保健調査票とその活用法の具体例の文献が意外に少なく、専ら、保健調査票そのものの評価に終わっている。つまり、問題点の指摘にとどまっただけの活用実践例が少ないのである。

ところで、保健調査票は、地域、学校の特殊性によって異なるべきで、統一形式は不可能であるとの意見が出るのが当然であるが、私たち、高等学校岡山ブロックでは、昨年度から保健調査票の共同研究にとりくんでいる。共同研究の動機は、岡山市街地という同地域、同一環境下にある学校群では、保健調査項目を最小限、有効なものに選別(無駄な項目を除いて)すれ

文部省体育局学校保健課長の異動

学校保健課長に

遠藤 丞^{すむ}氏

学校保健課長 遠藤丞氏

前文部省体育局学校保健課長倉地克次氏には、このたび、初等中等教育局高等学校教育課長に転任されました。

新課長には、遠藤 丞氏が着任されました。

遠藤 丞氏は、大学卒業後文部省に入られ、大学学術局視学官、大学学術局学生課長、内閣官房内閣審議室内閣審議官を経て体育局学校保健課長に就任されました。

(1月16日付)

ば、統一形式も可能ではないか、また、検診後の保健指導、保健管理上からも、問題点の比較研究ができ、協力して学校体制の変革にもあたることのできるのではなからうか、という合理的な理由からである。本年4月、同一様式の調査票を使用したのが、現在、各学校ではのぞましい活用方法についての研究・実践をすすめる、とくに、校医の検診結果との関連性についてまとめている。この結果は、8月の高校夏期研修会で発表する予定である。県下100の高校へのアンケート調査結果では、49年度、保健調査票を使用したのは95%、そのうち、自校作成のものは50%であった。また、自校作成しながらも、統一様式をのぞむ声もかなりあり、逆に、統一に反対、または不可能との声もほぼ、同数あった。健康診断を総合的に、能率的に、集中的にというならば、保健調査票もできるだけ、合理的にしたいもので、ことさら、複雑化して、膨大な資料を集める必要はないと思う。思いきって、自己満足とか、優越感をすてきって、同地域、同一環境下の学校群間で、最小のエネルギーで最大の効果(生徒の一人一人の健康を守り、その発達を保障する)をあげる方法を一人でも多くの仲間と研究し合っ、実践記録を創りあげて行きたいものである。

4.おわりに

保健室では生徒1人1人についての多くの情報を集め、保健指導、保健管理に役立てるべく、個人カードが、つくられているが、大半が身心ともに健康な集団である本校では、これらの資料が、有効に活用されるのは、ごく僅かな対象である。健康指導カードの資料づくりが終わる頃には、ほとんどの生徒は、健康のまま、進級し、卒業して行く。他からみれば、養教の生き甲斐とか、趣味としかみられない資料づくりは、教育保健の立場から、学校全体で協力してつくりあげるべきものであって、養教1人で実践できるものではない。しかし、このように、学校体制をかえて行くことは、資料づくりに限らず、やはり、最も困難な実践なのである。そしてこれらのことを今後の研究課題として、日々よい実践を創り出して行くよう力したいと願っている。

学校薬剤師東南アジア訪問

東京学芸大学 教授 元山 正

アジア諸国の薬剤師会では、2年毎にアジア薬学大会を開き、お互いの話し合いの場を持っており、本年11月にジャカルタで第6回が開催される予定である。

学校薬剤師という制度は日本で始めて設けられ、その後、韓国にも設けられ活動を始めているが、その他の国にはないところから、この大会の第1回以来、毎回学校薬剤師の活動について報告してきた。その結果、アジア各国に関心を持たれて来ているので、今回、実際に学校薬剤師として活躍している方々が、東南アジア各国を訪ねて、お互いの状況を知り、話し合うことを計画し、11月16日から12日間、総員15名で訪問した。

この旅の目的は学校薬剤師というものを理解して貰うことではあるが、各国の状況が違うので、むしろ各国の状況を知り、親交を深めることに重点をおき、学校薬剤師制度を参考にしてもらえれば良いという考えであった。

香港

香港には薬科大学がなく、英国系の国々が台湾で教育を受けた人が薬剤師であるため、その数も少なく、学校保健までは手がでないという状況であった。会議は主に香港の薬業事情を聞くという程度であった。

タイ

タイでは薬事行政・栄養行政・食品衛生行政が薬剤師によって行なわれているが、環境衛生はサニタリアンが行なっているとのことであった。それだけに、なぜ学校薬剤師が学校環境衛生について仕事をするのかという質問もでた。学校保健については余り進んでいないようで、一部の学校で健康診断が行なわれる程度のものである。話しをしていると、医学部を持っている大学では入学のとき健康診断をしているというような答が返ってきた。

インドネシア

インドネシアは本年アジア薬学大会が開催されるため、その準備委員を含めて8名の方が出席され、会議が進められた。この国はオランダ系の学校制度が残っており、薬学教育も4年と5年制がある。貰った名刺に Drs. とあり、Dr の複数にしては変だなと思っていたが、どうも5年制の大学を出た学位らしく、ドクト

ンドスとよぶのだそうである。

インドネシアの保健制度は主に保健所を中心として行なわれており、そこでは診察も行なわれているようである。学校保健についても、保健所の看護婦が時々巡回するということがあった。

フィリピン

フィリピンの薬剤師は女性が中心で、薬科大学の教官も女性が多いようである。会議に出席された方々は18名で、その中に男性は3～4名であった。また薬学部長が5名含まれていたが、全部女性の方であった。

われわれが会議を行なった大学は歯学部・薬学部を持つ大学であったが、立派な保健室があり、医師が常駐していた。説明では学生数3,000名以上の学校には医師が常勤しているということであった。この点われわれは理解ができず、相当討論が行なわれた。しかし実際にそのような制度があるので了承したわけである。

台湾

最後の訪問地は台湾で、ここでは日本語で会議を進めることができたため、全員活発に話し合った。台湾では衛生処に学校保健教育課があり衛生教育を担当しているとのことであった。しかし、ここには保健の専門家は少ないようで、教育関係者が主になっているということであった。また文教関係にも学校保健関係の課があるとのことであったが、衛生関係の人が多いため詳しいことはわからなかった。

環境衛生についてはサニタリアンが中心になっているとのことであり、日本と状況が似ているので、学校薬剤師制度については非常な興味をひいたようである。

むすび

学校保健については、まだ各国とも余り進んでいないようで環境衛生の問題までは及んでいないようである。実際この旅行期間中、ホテルで蛇口から水を飲んでも良いというところは少ない状態で、公衆衛生の問題が多いようであった。そのため学校薬剤師制度を説明しても、必ずしも十分な理解は得られなかったようであるが、可成りの関心は得られたと思う。また日本側としても、東南アジア各国の状況を知ることができ、今後の話し合いに役立つことと考えられる。

体力をつけ健康を保つ **カワイ** のビタミンAD剤

カワイ肝油ドロップ

1粒中 ビタミンA 2,000国際単位
ビタミンD₂ 200国際単位

カワイキャンズドロップM

1粒中 ビタミンA 2,000国際単位
ビタミンD₂ 200国際単位
リン酸水素カルシウム 65mg



河合製薬株式会社 東京都中野区新井2丁目51-8

保健会だより(9)

鼻呼吸と健康との関連

山梨県学校保健会会長
大久保 福信

学校を卒え、研究室から病院勤務、戦争を外地で体験、終戦と共に郷里から近い町に開業した町医者として私の学校医活動が始った。同郡下の医師会員と共に、郡下全域の小・中学校を中心に、当時の憐れな児童・生徒・住民を対象に巡回診療をつづけた。私は郡下に1人しかいない耳鼻咽喉科専門医。他の仲間には交代があっても、私には交代はない。従って全出席、自分の診療は午前中だけ、こんなことが約10年近くもつづき、世の中に落ちつきが見え、児童生徒にも眼・耳・鼻患者の疾患も減り、寄生虫、その他の環境疾患も減り、この頃になって私の郡下にも各村に診療所・病院の建設もあって、私達の巡回診療も終りをつげた訳です。今思えば児童生徒の健診、住民健診、衛生講話、夜は町村当局者及び村内有識者を交えた保健衛生懇談会、保健衛生環境づくり設計青年会議主催等よくぞやった。町村長以下よく話し合せて下さった。その御理解と、熱心さは嬉しく、なつかしい思い出である。こんな時代を経て、経済成長、文化生活が始って、早くも早く人間の幸福に疑問が持たれるようになろうとは？

もう何年も前から公式発表に、体位は伸びたが体力が伴はぬ、と叫ばれて久しい、だが体位体力のアンバランス対策については、運動することだけで、それ以前の問題究明については一向に進展を見ない実状である。公式発表の体位の中には、身長だけしか出てこない。体位は身長、胸囲、体重相関の中で決めたい。即各比率がバランス基準に適合していることが求められる。又体力の場合も、筋骨の発達と、外に向って働きかける瞬発力に堪え、持久力を賄うに足る酸素供給が条件となる。従って体位体力の均衡を保つ育成発達の方途を、生活の中に取り入れる工夫がなくてはならない。現代の児童生徒は、発達期である幼児期から、不十分な鼻呼吸で、大きく、又、小さく、口を開いて大部分を口呼吸に頼る習慣が身につけて、鼻をかむことが、正しく上手には出来ない者が多く、そのことが健康な体づくりに、どれ程大切かを知らず、甚しきは腹式呼吸をしている者すらいる状況である。身長は、栄養だけでも伸びるが、胸囲は、肋間筋と横隔膜の運動で始めて胸郭が発達するものであり、これは鼻呼吸以外にはなく、然も平素の小さい鼻呼吸だけでは限界が小さいので、深い呼吸に依って極限の向上を図りつ、肺の発達を促進する。これが体の生理的仕組みである。

次いで鼻呼吸の意味するものは、①五官の1つ、嗅覚は鼻からの吸気に依って人体の保護役を果す。②小さい鼻口から長い経路を辿る吸気は、毎分約18回、胸郭の肋骨を挙上して肋間を拡大し、横隔膜を下げる運動を誘い、胸腔を全開大、肺の機能、容量の発達を図る。③更に鼻腔から耳管を通して、中耳腔、鼓室に清新な空気を送入、大気圧と鼓室内圧との平衡を保持し、聴力、前庭、三半規管の健康育成に役立っている。④人体の保護的役割としては、嗅覚を通しての危険察知。又-30℃の空気も37℃に加温、どんな乾燥空気も75%以上に加湿すると共に大気的清浄作用により、塵埃、病菌の侵入防除の役割を果す。

以上の仕組みで、人体に供給される酸素源である大気中には約21%の酸素が含まれているが、18%となると酸欠空気と呼ばれる。外国文献に依ると、16%となると頭痛が始まり、運動神経が犯され、細い動作不能となる。14%となると大脳コントロールを乱し判断低下、深酔状態となる。10%となると最早や意識不明、人事不省となり、6~8分で死亡するとあります。これは大気中の酸素量ですが、大気中の酸素量が正常でも、私達の呼吸、肺機能を通して吸収摂取量に変化があっても前記同様の結果となる。近時各地の学校行事中の死亡事故にも、心不全等の病名が見られるが、心筋が必要とする酸素供給の不足は、全く心不全と同様の経路と結果をもたらすものである。冬の空気の寒冷、乾燥の口呼吸は肺の乾き或は冷やされ、肺泡の酸素交換効率の低下により、血液PHは左偏し、不幸な転帰とも結びつき易い場合の多い点は、注意を要するものと思います。

体力づくりと称して、食事栄養と運動だけ考えている教育の場(家庭を含む)からは正しい健康も体力も生れない。エネルギー源が完全エネルギー化する為には、常に酸素媒体が充分満たされるという条件を忘れ勝ちである。

血液PHは中性→アルカリ性に傾いていなければ、エネルギーの発効は望めないし、これが児童生徒の骨折、虫歯の原因ともなっているのと同じであり、運動により運動神経・筋骨の発達を期待する場合、酸欠症状を忘れないことが大切である。食栄養で体力、健康が期待出来るなら、訓練も努力も空しいものである。「つかれたら両手を上げて深呼吸」

財団法人 日本学校保健会 推薦品

スロット式KYS身長計 (PAT. P)

KYS 新型廻転式視力計 (PAT. P)

学校保健に 便利で正確堅牢な

新しいアイデア製品を!

—カタログ送呈—

登録  商標

—創業100年—

〒116 東京都荒川区東尾久6-44-10

(株) 山越製作所

TEL 03 (895) 9375

全国学校歯科保健大会報告

社団法人 日本学校歯科医会

専務理事 飯田 嘉一

第39回全国学校歯科保健大会は昭和50年11月15日(土)16日(日)の両日にわたり香川県高松市の香川県歯科医師会館、高松市民会館、高松市立四番丁小学校、香南町立香南小学校を会場として開催された。

この大会は「保健指導と保健管理の調和一地域社会とともに」をテーマに掲げて行なわれ(一)学校歯科医、歯科医師、歯科教育関係者、(二)都道府県市町村教育委員会の関係職員、(三)学校(園)の教職員、歯科衛生士、PTA会員が全国から1,300余名が参加し、社会環境の変化の中でまんえんする歯牙疾患が、発育段階にある児童生徒を障害し、重大な社会問題を引き起こしている現在、学校歯科保健関係者による歯科保健指導と管理の調和により、問題解決を促進し、健康な児童生徒の育成と歯科保健の充実発展を期するための研究協議が熱心に行われた。

第1日(15日)は研究発表ならびに協議が第1領域は、特別活動における歯科保健のすすめ方について。(香南小学校)

山田茂日本大学教授を座長として、児童生徒が望ましい集団活動をとおして、う歯予防の重大性を理解し、お互いに協力して日常生活の中で実践していく態度を育て、さらにこれを習慣化していくための具体的な方策について研究協議された。

第2領域では、実践をとおしてたくましさを育てる健康教育について。(四番丁小学校)

榊原悠紀田郎愛知学院大学教授を座長として一習慣形成をめざす歯科保健指導のあり方—う歯の予防と治療に関し児童生徒の望ましい習慣形成をはかるために、学校と家庭がどのように協力していけばよいかについて研究協議された。

第3領域では、健康診断における効果的な歯科保健指導はいかにあるべきか。(香川県歯科医師会館)

高橋一夫東京歯科大学講師を座長として、学校歯科医、学校関係者として、健康診断時にいかに有効に保健指導を行なうか。事後措置、家庭、地域社会を含めたの考え方に立って研究協議した。

学校歯科保健大会セレモニーは、第2日午前9時半から高松市民会館で催された。

遠く沖縄をはじめ全国よりの参加者が会場を埋め大会前奏曲がムードを盛り上げ開会式が始められた。大会は米田貞一大会副委員長が開会を宣言、国歌斉唱につづいて中井須恵男大会委員長による学校歯科の鐘槌打と開式のこのばがあり、ついで物故者に黙悼を捧げたあと湯浅泰仁大会会長が次のように挨拶「この度のテーマは近年における世相の推移に対応し積極的に学校歯科保健の諸問題につき研究協議を行なって相互理解を深め、児童生徒の生命尊重と歯科保健の重要性を認識し指導と管理の調和により、その対策の充実・発展を期するものである。この趣旨をおくみとりください学校歯科保健の充実・発展のため格段のご理解とご協力をお願い申し上げます。」続いて香川県教育長と高松市教育長の挨拶があり、このあと表彰式にうつり、湯浅日学歯会長から前回開催地代表京都の有本武二会

長に感謝状を贈呈し、ついで全日本よい歯の学校表彰が行なわれた。先づ川村日学歯副会長より審査報告があり受賞校を代表して地元香川県坂出市坂出西部小学校と同県大川郡白鳥町立白鳥中学校の両校長に賞状と賞品の授与が行なわれた。ついで奥村賞の授賞式が行なわれ山田茂審査委員より審査報告があり、大阪市立塚本小学校と茨城県土浦市立津和小学校両校に推薦賞が授与された。このあと文部、厚生大臣(いづれも代読)日本歯科医師会会長(副会長代読)香川県知事(代読)高松市長、日本学校保健会会長東俊郎の諸氏がそれぞれ心のこもった祝辞を述べられた。祝電披露のあと表彰式が終り、ついで前日研究協議会の3領域の報告が行なわれた。

午後は1時10分より再会され愛育病院長内藤寿七郎先生が「小児期のかくれた健康障害」と題して講演された。そのあと全体協議会に移り次の協議題のもとに熱心な協議が行なわれた。1.学校歯科報酬の適正化について。2.よい歯の学校表彰基準について。3.学校教職員の口腔、歯の健康診断の実施を希望する。4.う歯予防運動の推進に関する件。つづいて次期開催地が栃木県と決定したと報告があり小谷敏春大会副委員長より大会宣言があつて開会式に移り、先づ香川県より次期開催地栃木県学校歯科医会長へ学校歯科の鐘が引継がれ大会の幕を閉じた。この意義ある第39回全国学校歯科保健大会に於ける日本学校保健会会長東俊郎先生の祝辞は、本日ここに「保健指導と保健管理の調和一地域社会とともに」をテーマに掲げて、第39回全国学校歯科保健大会が盛大に開催されますことは、まことに慶賀にたえません。学校歯科保健につきましては、全国の学校歯科医の先生方が永年にわたり奉仕的なご努力をなされつつあるにもかかわらず、児童生徒等のう歯罹患率は急激な増加を示し、昭和48年度統計によると、小学校93%、中・高92%の高率となっており、まことに憂慮にたえない、したがって、学校歯科活動の計画の実践こそが、今日の緊急不可欠の重要事であると考えられ、そのため、学校長を中心とする学校側の努力は当然必要なことであるが、その先頭に立つものは、なんといっても全国の学校歯科医の先生方であることは申しあげるまでもありません。学校歯科保健の向上のためには、種々対策があろうかと思うが、とりわけ各地域において、その体制を整備し、地域ぐるみの組織活動を推進することが重要であると思う。そしてその活動の一つとして、地域の母親や家族に歯科保健の理解と実践を指導し、小学校入学前の子どものう歯の予防と治療の徹底のため、一層のご努力をお願いしたい。日本学校保健会でも昭和48年度から始まった国の学校保健センター的の事業の一つとして、健康相談事業の中で、歯、口腔の問題をとりあげ、権威ある先生方を委嘱して研究をすすめて、みなさんと同様に国の学校歯科保健の向上を期している。終りになりましたが、学校歯科医および学校歯科保健に大いに関心をもたれ、本日出席されました方が今後ともご健康で一層ご活躍くださいますようお願い申し上げます。

学校保健史 その7

「日本学校衛生」の発刊者 本図晴之助

杉浦守邦(山形大学教授)

戦前の学校衛生専門雑誌として最も長い歴史を有するのは「日本学校衛生」である。大正2年4月第1号を発刊してから、1回も休刊することなく、戦時中の出版統制で昭和17年廃刊になるまで、実に30年余にわたって発行された。出版元は大日本学校衛生協会(会長北里柴三郎・副会長三島通良)と称したが、実際は常務理事であった本図晴之助(もとずせいのみすけ)のほとんど独力で維持経続されたものである。この雑誌は、学校衛生に関する医学論文を数多くのせ、研究者を育てることに力を注いだから、これを業績発展の拠点として、医学博士の学位を獲得していった学校衛生専攻者も多く、今からみてもかなりアカデミックな専門誌と言えるものであった。

本図晴之助(一時井上と称したこともある)は、茨城県新治郡真鍋町(現土浦市)の出身で、明治3年8月11日生れ。一時東京府下で代用教員を勤めてから、明治27年東京府師範学校に入学し、30年7月同校卒業後、西多摩郡、北豊島郡、四ッ谷等で教鞭をとった。40年3月当時貧民対象の特殊小学校として有名な鮫橋小学校長となり、特に学校衛生・特殊教育方面に意を注ぐ経営を行なった。しかし2年後退職し、愛媛県の四国島にできた別子銅山の私立小学校長として赴いた。

その後帰京し、44年頃から雑誌「帝国教育」や「家庭の衛生」の記者をしていた。たまたま同年8月本郷区の学校医赤井直忠が、ヨーロッパで盛んに行なわれていたフェリエンコロニーを模して、区内の貧困虚弱児を対象に夏季休養団を実施したが、これを取材して帝国教育に報道してから、学校衛生方面に強い関心をもった。当時は又教員の結核問題が天下の耳目を集めており、文部省の担当官であった古瀬安俊からも示唆をうけ、さらに家庭の衛生誌の読者として出入りするうち知遇を得ていた北里柴三郎の後援を得て、彼をかついで学校衛生専門雑誌の創刊を企てたものである。記

さらに当時隠棲中の元文部省学校衛生課長三島通良をひっぱり出し、大正2年3月1日大日本学校衛生協会の発会式を行ない、次いで翌4月から日本学校衛生

を発刊した。創刊号には、北里柴三郎の「学校教員の肺結核に対する予防及撲滅に就て」三島通良の「学童衛生」乙竹岩造の「特殊教育」古瀬安俊の「数量上に現はれたる学童発育と貧富の関係」等の論説をのせている。

しかし経営はかなり苦しかったらしく、当時のことを回想して、本図は次のごとくのべている。「……大日本学校衛生協会を創立しましたものの、多年萎靡不振の裡に産声を上げたこととて、就中大正2年3年4年というものは、依然として会員が極めて少数なので愛児「日本学校衛生」も栄養が十二分に届きかね、頻死の境に至った事も度々ありました。若し此経営者が商人であったならば、疾うの昔に潰れて仕舞った事と存じます。けれども土台私はソロバンを有って始めたのではなく、私には或る信仰があったからであります。其れは『意義ある生活をして見たい』と云ふ事で、之れが私の終始一貫した信条であります。本会の創立当初三島博士が私に『学校衛生では飯が食ひないよ』と誨ひて呉れたのも、北里博士が『君は道楽にやるのか、金儲けにやるのか』と戒めて呉れたのも扱って見ると両博士の訓戒が如何にもと首肯される事が能く判った」

当初600部位しか出なかつたらしいが、曲りなりにも出版を続け、一方に学校衛生普及のキャンペーンを続けるうち、ようやく学校衛生に世人も注目するようになり、雑誌の発行も軌道に乗った。

彼はまた協会理事として、大正3年8月には東京市内の虚弱児を対象に鎌倉で夏季聚落を開設(この事業は2回実施したが収支がつかぬわず、同9年以後は麴町区の高摩川夏期林間学校を後援する形式で継続した)するほか、同年11月全国連合学校衛生協議会を開催して文部省に学校衛生主管課の復活を建議する等の活動を展開した。

大正5年文部省に学校衛生官の職制が生れ、北豊吉が就任してからは、これを協会理事として迎え、共同して学校衛生振興の宣伝につとめた。9年2月には国

(2頁右下につづく)

● 女子生理教育用カレースライド

日本学校保健会監修

カラーオートスライド(66カット・15分、録音テープ、台本、マニュアルつき)

「いつものあなたでいるために」

— 月経の知識と正しい手当て —

■ 内容

月経の仕組みとはたらきを中心に、月経時についての考え方や生活管理の方法をわかりやすくまとめてあります。

■ 定価 9,500円

無料でもお貸しいたします。お申込みまた、使用上の詳細については、下記へ、お問合せ下さい。



東京都港区高輪3-25-23
ユニ・チャーム株式会社
TEL 03(449)1555(代)

日本学校保健会だより

昭和51年度を迎えるに当って、昭和50年度の事業ならびに経理状況、51年度の事業計画や予算案について、加盟団体の総意を結集するよう次の会議を予定している。

常務理事会 (19人) 3月13日 (土) 2:00~5:00
理 事 会 (32人) 3月31日 (水) 9:30~11:00
評 議 員 会 (75人) 3月31日 (水) 11:00~2:00

なお、例年通り5月下旬に理事会、評議員会を開催し、本会の運営について皆さんの意見を伺い、昭和50年度の事業、決算報告、51年度の事業および予算の審議を予定している。

1. 会報「学校保健」の編集について

会報「学校保健」は、昭和29年2月に創刊号が発行されてから、本号をもって第111号になる。

今後は、各学校の現場の状況を会報を通して広く全国にお知らせしたいので、特に学級担任等一般の教職員の方々の投稿をお願いする。

但し、原稿は会報編集委員会で選択することを了承願いたい。

2. 昭和50年度の日本学校保健会編の印刷物の発行

昭和50年度の学校保健センター的事业は、102名の委員と70回におよぶ委員会を開催している。その成果として、本年度出版する資料は、次の通りである。

1. 『学校保健の動向』 - 昭和50年度版 -
2. 『学校における肥満とくやせ』 指導の実際』
3. 『ぜんそくの児童生徒の保健管理指針』
4. 『学校の健康診断におけるコンピューター利用の実際』
5. 『刷掃指導による歯肉炎の予防』 - 刷掃指導の参考資料として -

6. 学校保健センターの事業報告書 - 50年度 -

各都道府県・指定都市教育委員会・学校保健会をはじめ関係方面に年度末には発送できる予定である。

なお、無料配布には制限があるので、特に1.2.3の印刷物については、4月以降に実費有償配布もあるので、日本学校保健会に問合せいただきたい。

3. 「中学校における保健体育の配当時間確保に関する陳情書」を提出

東会長と小栗専務理事は、昭和51年2月12日、永井文部大臣に会長名をもって、次の陳情書を提出した。「教育基本法において、心身ともに健康な国民の育成をとるえながら、教育課程における保健体育の配当時間数は10パーセントにすぎません。

健康なくしては、如何に知育を重視しても全く無意味であります。知育偏重が批判されている今日、健康に関する教育活動の比重をさらに増加されるよう、御配慮をお願いいたします。」

学校保健用品推薦公示 12月~3月

◇新 規◇

- 日本保健関係文献集'74上 (株) ジャパン・メディカル・サービス
東京都千代田区九段北1-2-1
中学校性教育カラスライド全3集 一橋出版(株)
東京都杉並区上荻1-21
正しい視力管理 東京視聴覚(株)
東京都新宿区三栄町9番地

◇更 新◇

- バネットライオンジュニア歯刷牙子 ライオン歯磨(株)
アルボース石鹸液 アルボース薬粧(株)
チャームナップノン ユニ・チャーム(株)
上記の学校保健資料・資材について、学校保健の向上発展に寄与するものと認め推せんします。

歯ブラシはお口のサイズに合ったものをお選びください **バネットライオン ジュニア**



ライオン歯磨株式会社

偏食児の栄養補給、虚弱体質に

パンビタンペレ

パンビタンペレ チョコレート

幼小児の発育期・病中病後・発熱性消耗性疾患・食欲不振・栄養障害などの栄養補給、滋養強壮に。

